

先祖の最相家を探る

龍ノ口山城跡

〔岡山市中区祇園～四御神〕

和尚の口から「龍ノ口」という名を聞いたときはまだ昭和だった。…

さいしやう

「最相の先祖はどこからきたのでしょうか」

それをきくと読むと、「川中島で死んだ武田信玄の弟の嫁が、子を連れて逃げこんだのがタツノクチじゃ。タツノクチは備前にある。それが身を隠すために、武田の姓を捨ててサイショウと名乗ったんじゃない」と喚くように応えた。弟の嫁たちは、どうしてそんなに追われていたのだろうか。

「サイショウとはどうしてつけたのですか。その意味は」：「最、スグレタ、最高。相、スガタ、大臣」と罪紙に書いた。

岡山平野の北方、旭川河岸にそびえる龍の口山の北面に築かれた山城である。龍之口八幡宮が鎮座する主郭の東側には、土塁で囲まれた長い曲輪が造られている。ここからさらに東へと延びる尾根筋には、深さ約5mの堀切が設けられ、それを挟んで数段の小曲輪が認められる。城主は、岡山平野の旭川東岸地域を支配した穢所氏であった。

参考：「岡山県中世城館跡総合調査報告書 第1冊―備前編―」岡山県教育委員会

龍ノ口山城跡

